

事業所名

なすの園

## 支援プログラム

作成日

2025

年

1

月

10

日

|           |   |   |  |        |   |
|-----------|---|---|--|--------|---|
| 法人（事業所）理念 | ・キリスト教精神に則り、隣人愛をもって社会に参加する。   |   |  |        |   |
| 支援方針      | ・お子さま、保護者様との信頼関係を築き、施設の透明性を大切にします。<br>・ひとりひとりの人権を大切にします。<br>・専門スタッフと協力して個の特性理解に努め、保護者様と共に成長を喜び合えるよう支援を行います。 |   |  |        |   |
| 営業時間      | 10 時  | 00 分から  | 16 時   | 00 分まで | 送迎実施の有無 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">あり</span> なし（土曜日は送迎無し） |
| 支 援 内 容   |   |   |  |        |   |
| 本人支援      | 健康・生活   | ・手洗い、トイレトレーニング、衣服の着脱、食事等を通して基本的な生活習慣の自立と生活スキルの獲得を目指します。<br>・来所、退所時の視診や検温により、お子さまの体調や気分の把握を共有し支援します。<br>・日課に沿った生活リズムの確立を行うことで、安心感を得て気持ちの安定を図れるようになります。又、散歩や戶外遊びを行い、健康の維持と向上に努めます。  |  |        |   |
|           | 運動・感覚   | ・バランスボールを使用した親子体操やスクーターボードを取り入れたサーキット、マット運動、リトミック等のリズム遊びを通して姿勢と運動、動作の向上を促します。（児発）<br>・音楽を使った感覚統合遊びを通して、触覚、前庭覚、聴覚、視覚、固有受容覚等の感覚刺激を意識して生み出していくことを促します。<br>・身体全体を動かし、身のこなしを学ぶ場としてスポーツチャンバラを体験する機会を設けます。（放デイ）                  |  |        |   |
|           | 認知・行動   | ・空間、時間、数などの概念形成の習得に向けて、一日のスケジュール確認において日付や天気に触れ、数や色のマッチング、制作活動等を行い、季節を感じる散歩を取り入れます。<br>・絵カードやタイマーを用いて時間やルールを意識して行動できるように促し、成功体験を積み重ねて行くことで自己肯定感へと繋げて行かれるよう支援します。<br>・宿題を含めた学習やSST、手先の巧緻性など個人の課題習得に向け、ひとりひとりに寄り添った支援を行います。  |  |        |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | ・絵カードを用いた言葉集めや連想ゲーム、しりとり等を通して言葉の理解や表出を促し、素話や絵本、手遊びなどに親しみながら言葉への感覚が養われるように支援します。<br>・ジェスチャーや指差し、マカトンサインを使って環境の理解や意思の伝達へと繋げられるよう支援を行います。<br>・STによる個別指導を希望者に行い、個の成長に合わせた言語聴覚指導を行います。又、指導内容を保護者と共有することによりご家庭との連携を図り、支援へ生かします。 |  |        |   |
|           | 人間関係<br>社会性   | ・小集団での遊びを通して他者と関わり、見立て遊びやごっこ遊びなどを取り入れて社会性を育みながら成長を促し、他者との信頼関係を築きます。<br>・買い物体験を意識した日々のおやつ遊びを楽しみながら行い、日常生活の中で事前学習することで社会性を育みます。<br>・スポーツチャンバラを通してルールを守ることや挨拶の大切さを学び、社会性を獲得する機会とします。（放デイ）                                    |  |        |   |
| 家族支援      | ・連絡帳や送迎時対応において随時情報共有を行い、相談援助を致します。<br>・保護者交流の場としてカフェルームを提供しています。<br>・親子遠足や行事参加にて、事業所でのお子様の姿を知る機会とします。       | 移行支援  | ・関係機関への個別支援計画書の情報共有を行います。<br>・公開保育や学校公開、会議への出席を通して保育、教育機関への情報共有と連携を行い、包括的に支援する環境を作ります。 |        |   |
| 地域支援・地域連携 | ・図書館や公園、道の駅、ビジターセンター等、地域の公共施設を利用する機会を設け、社会経験の場を広げていきます。<br>・地域の大学生ボランティアを受け入れ、積極的に地域交流を図ります。                | 職員の質の向上   | ・研修参加（権利擁護虐待防止、ハラスメントなど）と伝達講習<br>・外部研修の活用（発達障がい理解と対応、感染症予防、救急法）<br>・月2回の職員会議の実施        |        |   |
| 主な行事等     | ・誕生日会 ・サマーフェスティバル、クリスマス会、卒園式などの季節イベント ・学生ボランティア参加による課外活動  |   |  |        |   |